

2016年8月24日
株式会社東陽テクニカ

カナダ iBwave Solutions 社と総代理店契約を締結
無線 LAN 環境構築支援ツール
「iBwave Wi-Fi」 「iBwave Wi-Fi Mobile」販売開始

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝、以下 東陽テクニカ）は、屋内に基地局やアンテナを設置する分散アンテナシステム設計構築支援のマーケットリーダーである、カナダ iBwave Solutions, Inc.（本社：カナダ モントリオール、以下 iBwave 社）と国内総代理店契約を締結いたしました。

今回は、日本において需要が拡大している無線 LAN 環境の効率的なデザイン手法を提供する、無線 LAN 環境構築支援ツール「iBwave Wi-Fi」および「iBwave Wi-Fi Mobile」を2016年9月1日より販売いたします。販売開始に伴い、3つのキャンペーン「新製品販売開始特別キャンペーン」「お手持ちのサーベイトールからの乗り換えキャンペーン」「新製品販売開始無償キャンペーン・セミナー」の実施を予定しております。



<PC 版 無線 LAN 環境構築支援ツール>



<Mobile 版 無線 LAN 環境構築支援ツール>

2016年に全世界で30億ユニットのWi-Fi製品が出荷され、累計の出荷実績は150億を突破する^{※1}とWi-Fi Alliance[®] ^{※2}は見込んでおり、Wi-Fi業界の成長は今後も続くと考えられています。

国内の状況として、2020年の東京五輪に向けた「おもてなし」環境としてWi-Fiの環境整備が急務となっており、官民挙げての取り組みが始まっています。五輪での実績として、2012年のロンドン五輪ではWi-Fiスポットはロンドン全域で約50万箇所整備され、さらに今年のリオ五輪では、ロンドン五輪の約5.5倍のWi-Fiスポット整備が予測されていて^{※3}、東京五輪でも相当数のWi-Fiスポットが整備されると見込まれています。

また、東日本大震災では、無線LAN機能を搭載したスマートフォンやタブレット端末の普及に伴い、被災地の

復旧支援活動や避難所などにおいて無線 LAN が有効な通信手段として機能したことが高く評価されました^{※4}。

しかし、このように需要が拡大し重要性が増す一方の Wi-Fi が利用できる無線周波数には限りがあるため、効率的な利用には適切な周波数の割り当てと無線 LAN アクセスポイントの整理が必須です。また、学校や病院などの公共施設や、スタジアムやコンベンションセンター、オフィスビルなど大勢人が集まる大規模施設では膨大な数のアクセスポイントが必要となり、これら一つ一つを適切に設置する必要があります。従来は、アクセスポイントの仮設置を行った後、サーベイツールを用いて電波の強さを測定、最適な状態になるまで繰り返し調整を行う方法が主流で、設置するアクセスポイントが多くなるとトライアンドエラーに要する工数が膨大になり、適切に無線 LAN を構築することが困難になります。

今回販売する、「iBwave Wi-Fi」および「iBwave Wi-Fi Mobile」は、公共施設や大規模施設、公共交通機関などにおける無線 LAN 環境を効率よく構築するための支援ツールです。ツール上に施設の精密な 3 次元あるいは 2 次元モデルを作成し、壁・窓・床など実際の材質に基づいた電波の減衰率と設置するアクセスポイントの出力やアンテナの特徴を考慮して、アクセスポイントの最適な設置場所ならびに電波の強さ・広がりを正確に予測します。これにより現地でのトライアンドエラーを最小限に抑え、工数・人件費削減に貢献します。加えて、ケーブルやイーサネットスイッチなどの有線ネットワーク機器も考慮した設計を行うことができ、システム全体の設計を支援、最適な調達を行い想定外の出費を防ぎます。また、電波強度の実測も可能で、設計モデル上に記録することができます。さらに、作成されたデータを閲覧する無償のビューワーと、データの受け渡し・管理が容易に行えるクラウドサービス「iBwave Cloud」により、関係者すべてが必要な情報を簡単・効率的に共有することができます。

【主な特長】

①無線 LAN 環境構築支援ツール「iBwave Wi-Fi」(PC 版)

- ◆壁などの材質や高さを考慮に入れた 3 次元の精密な施設のモデリング
- ◆最適なアクセスポイント設置場所の自動判断と、予測される電波強度分布の表示
- ◆アクセスポイントに加え、ケーブルやルーターなどのネットワーク機器も考慮したネットワーク全体のデザイン
- ◆アクティブサーベイおよびパッシブサーベイによる電波強度などの測定

②無線 LAN 環境構築支援ツール「iBwave Wi-Fi Mobile」(Mobile 版)

- ◆施設およびフロアのプランを 2 次元で作成
- ◆最適なアクセスポイント設置場所の自動判断と、予測される電波強度分布の表示
- ◆画像・映像・音声によるメモをフロアプランの図面上に保存可能
- ◆アクティブサーベイおよびパッシブサーベイによる電波強度などの測定

【製品データ】

① 無線 LAN 環境構築支援ツール「iBwave Wi-Fi」

- ・標準価格：[永続ライセンス] ¥868,000（税別）
[1年間使用ライセンス] ¥641,000（税別）
- ・販売目標：年間 100 ライセンス
- ・販売開始：2016 年 9 月 1 日

② 無線 LAN 環境構築支援ツール「iBwave Wi-Fi Mobile」

- ・標準価格：[1年間使用ライセンス] ¥271,000（税別）
- ・販売目標：年間 100 ライセンス
- ・販売開始：2016 年 9 月 1 日

③ 実施キャンペーン

- ・新製品販売開始特別キャンペーン
 - ・お手持ちのサーベイツールからの乗り換えキャンペーン
 - ・新製品販売開始無償キャンペーン・セミナー
- ※各キャンペーンの詳細および期間についてはお問い合わせください。

※1 <https://www.wi-fi.org/ja/news-events/newsroom/wi-fi-2016-150> より

※2 無線 LAN のシームレスな接続性の実現を目的とした、業界大手数百社の企業で構成された世界的な業界団体

※3 http://www.soumu.go.jp/main_content/000354249.pdf より

※4 http://www.wlan-business.org/wp/wp-content/uploads/2016/03/Wi-Fi_Free_Guideline_v3.0_0225.pdf より

<iBwave 社について>

iBwave 社は、屋内におけるモバイル通信の品質を向上させるために、ビルなどの施設内に基地局やアンテナを設置する、いわゆる分散アンテナシステム (Distributed Antenna Systems) の設計構築支援ツールのマーケットリーダーです。病院などの公共施設、スタジアム、ショッピングモール、コンベンションセンター、ホテル、オフィスビルといった大規模施設内の DAS 設計構築に、iBwave 社の製品は世界中で幅広く用いられています。無線 LAN マーケットでの同様のニーズを満たすため、2015 年より無線 LAN 構築支援ツールの取り扱いも始めました。

ロンドンオリンピックやリオデジャネイロオリンピック、さらにはパリの地下鉄の駅などのアクセスポイントの設置に iBwave 社のソリューションが用いられています。

iBwave 社 Web サイト：<http://www.ibwave.com/>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953（昭和28）年の設立時より「技術と情報」をキーワードに日本の技術発展に寄与することを使命として、主として最先端の「測るツール」を欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の研究・開発者に提供してきました。さらに、「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー、トレーニングなどの取組みは、530名を超える全従業員の約7割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。

東陽テクニカ Web サイト：<http://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

TEL：03-3245-1250（直通） E-mail：ibwave-sales@toyo.co.jp

製品ページ：<http://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/iBwave-Wi-Fi.html>

<http://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/iBwave-Wi-Fi-Mobile.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。